

# 二次電池(セル・モジュール)の過酷試験用温度センサ

過酷試験においては次のような測定環境から絶縁性の高い温度センサ且つ取り回しがしやすいよう細いセンサが求められています。

## [過酷試験の測定環境]

- モジュール内部やセル内部まで挿入する環境
- 過充放電試験により発火する環境
- EV事故による火災を想定して燃焼させる環境

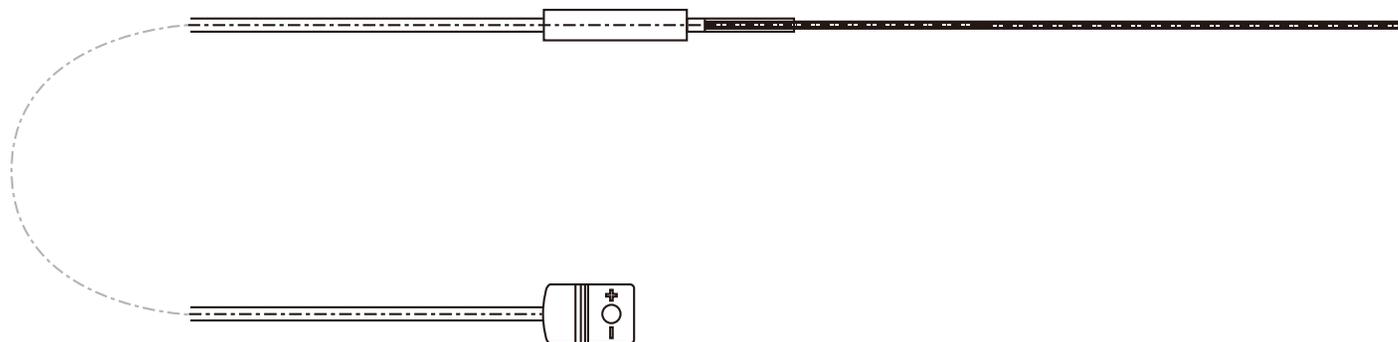


そこで、 $\phi 1.0$ のシース熱電対にフッ素樹脂チューブを被せ先端を封じ保護管としたものを開発しました。

フッ素樹脂肉厚が約 $0.2\text{mm}$ 仕上り外径 $\phi 1.4$ となります。

長尺(2~3m)で収縮・先端封じを行った保護管構造は、他社に先駆けてチノーだけが製作しております。

他社の場合は外径 $2.0\text{mm}$ の保護管、もしくはシース長が長い場合、先端封じ加工の無いチューブとなります。



形 式: SCHS1-0シリーズ  
規 格: J I S C 1605-1995  
測温接点形状: 非接地形  
素 線: K  
許容差の分類: クラス 2  
保 護 管: SUS316 ( $\phi 1.0$ ) + フッ素樹脂収縮チューブ ( $\phi 1.4$ )  
常 用 限 度:  $200^{\circ}\text{C}$  (フッ素樹脂収縮チューブ)

※この資料の記載内容は2018年7月現在のものです。

**CHINO** 株式会社チノー

<https://www.chino.co.jp>

OA2018-010\_01